

# 平成30年度事業報告書

奈良経済同友会

## I 概括

平成30年度のわが国経済は、輸出はおおむね横ばいとなったものの、企業収益が過去最高を記録し、設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の着実な好循環がみられた。

一方、県内経済は、個人消費は横ばい状態が続くとともに、設備投資が盛り上がりならず、原材料価格が上昇、人手不足が強まるなど、全国よりもやや厳しい状況となった。

このような中、当会は、例会活動において、行政関係者、企業経営者、大学教授、柔道家など多彩な講師による講演、鉄道車両工場(東大阪市)や都心型オープンイノベーション拠点(大阪市)などへの出張視察見学、忘年会でのジャズライブとマジックショー、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携など多岐にわたるテーマで見聞を広めるとともに、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し一層の交流を深めた。

10月には「当会創立70周年記念大会」を盛大に挙行し、「企業活性化委員会」並びに「観光活性化委員会」の中間報告をとりまとめ発表した。また、恒例の年頭所感では、「自立する奈良県経済をめざして」をテーマに、地域活性化のための方策を「企業活性化」と「観光活性化」の視点からまとめ年初に発表した。

一方、海外視察研修ではマレーシア及びシンガポールの経済産業動向を視察で見聞を広めるとともに、ゴルフ親睦会などで交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強にも努め、魅力ある同友会活動を推進した。

対外交流活動では、6 経済同友会代表幹事懇談会(大阪市)、第31回全国経済同友会セミナー(宇都宮市)、第116回西日本経済同友会会員合同懇談会(高松市)、第5回西日本経済同友会代表者会議(大阪市)、全国経済同友会代表幹事円卓会議(米子市)などへの参加を通じて、県外経済同友会会員、代表幹事等との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の名古屋以西の早期開業、京奈和自動車道の建設促進など積極的に推進した。

以上のとおり、本年度の当会は、多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団をめざして、地に着いた活動を展開した。

## II 会合日誌

### 1. 総会

◎5月9日

於 ホテル日航奈良 飛天の間

#### 1. 議題

- ① 平成29年度事業報告並びに収支決算報告について
- ② 平成30年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)について
- ③ 役員改選について
- ④ 規約の変更について
- ⑤ その他
  - ・特別会員の委嘱について
  - ・創立70周年記念大会について

出席者 82名

#### 1. 記念特別講演

於 ホテル日航奈良 飛天の間

講師 コマツ (株式会社 小松製作所)

取締役会長 野路 國夫 氏

テーマ 「コマツのモノ作り ～グローバル企業を支える現場力とコマツウェイ～」

出席者 90名

1. 会員懇親会

於 ホテル日航奈良 飛天の間

出席者 75名

2. 正副代表幹事会

◎6月5日

於 奈良県経済倶楽部

1. 議題

平成30年度事業計画・スケジュールについて

- ① 例会活動について
  - ・例会講師の選定指針 (基準)
  - ・月例会講師
  - ・移動例会訪問先
- ② フォーラムについて
  - ・趣旨、運営体制
- ③ 委員会活動について
  - ・テーマの選定 (絞り込み)
  - ・今後の活動方針・目標
- ④ 創立70周年記念大会について
- ⑤ その他
  - ・2019年海外視察先について
  - ・行政との意見交換会
  - ・会員拡大策及び目標

1. 出席者 9名

◎11月19日

於 ぶろぼの福祉ビル

1. 議題

- ① 今後の委員会活動について
  - ・委員会活動のあり方について～総論～  
提言団体としての委員会活動の位置付け、会員のかかわり方等
  - ・委員会の具体的な活動について～各論～
    - ・企業活性化委員会
    - ・観光活性化委員会
    - ・総務委員会の立ち上げ
- ② 新入会員の審査について
- ③ 来年度の海外視察研修について
- ④ 2023年度全国経済同友会代表幹事円卓会議の引受けについて
- ⑤ 関西財界セミナーへの参加
- ⑥ 当会ホームページの充実、利便性向上、情報発信力強化について
- ⑦ 創立70周年記念大会総括報告 (中村実行委員長)
- ⑧ その他
  - ・今後の予定 ほか

1. 出席者 8名

◎12月6日

於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. 議題

- ① 第2次委員会（「企業」及び「観光」）について
  - ・メンバー選考（委員長、副委員長、委員）
  - ・今後扱うテーマ・活動内容（各委員会）
- ② 総務委員会立ち上げについて
  - ・メンバー選考（委員長、副委員長、委員）
  - ・活動内容
- ③ 新入会員増強について
  - ・新入会員審査の手順・基準
  - ・70周年記念大会招待者への入会勧誘
- ④ 委員会に関する内規制定について
  - ・内規（たたき台）の検討

1. 出席者 9名

◎3月5日

於 奈良県経済倶楽部

1. 議題

- ① 平成30年度収支決算（着地見込み）及び70周年記念事業収支決算
- ② 2019年度事業計画（案）、収支予算（案）
- ③ 役員の異動について
- ④ 特別会員の委嘱について
- ⑤ 会員の管理・新入会申込者の審査について
  - ・入会基準ガイドライン
  - ・入会希望者の審査手順
- ⑥ 入会希望者審査
- ⑦ 委員会活動について
  - ・企業活性化委員会
  - ・観光活性化委員会
  - ・総務委員会
- ⑧ その他
  - ・県知事選への荒井正吾氏推薦について
  - ・奈良女子大学創立百十周年記念事業寄付について
  - ・産学連携学会【奈良大会】への後援について
  - ・SDGs バッジ購入・着用について
  - ・COC+企業見学ツアーの来年度実施について
  - ・ぶろぼの山内氏からの申し出について
  - ・今後の予定について

1. 出席者 9名

3. 幹事会

◎4月13日

於 奈良商工会議所

1. 議題

- 第1号議案 平成29年度事業報告並びに同収支決算報告について
- 第2号議案 平成30年度事業計画（案）並びに同収支予算（案）について
- 第3号議案 役員改選について
- 第4号議案 規約の変更について

第5号議案 特別会員の委嘱について

その他

- ・今後の予定について
- ・創立70周年記念大会について
- ・海外視察研修（シンガポール・マレーシア）について

◎8月29日

於 奈良商工会議所

1. 議題

① 創立70周年記念大会準備状況について

- ・大会趣旨説明
- ・式典説明
- ・懇親会説明
- ・予算説明
- ・来賓及び招待者
- ・今後の予定

② その他

- ・企業活性化委員会、観光活性化委員会まとめ
- ・2019年度海外視察について

1. 出席者 30名

4. 会計監査

◎4月5日

於 当会事務局

1. 出席者 2名

◎4月9日

於 小林しげき事務所

1. 出席者 2名

5. 例会

◎4月26日

於 奈良ホテル 金剛の間

1. テーマ 「日本的経営の見直し」～公益資本主義への取組み～

1. 講師 オタフクホールディングス株式会社 代表取締役社長 佐々木 茂喜 氏

1. 出席者 73名

◎6月12日

於 奈良ホテル 金剛の間

1. テーマ 「今、経営者に求められること」

1. 講師 一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 黒田 章裕 氏  
(コクヨ株式会社 代表取締役会長)

1. 出席者 71名

◎7月18日

於 奈良商工会議所4階中ホール

1. テーマ 「仮想通貨の現況と展望」

1. 講師 奈良大学社会学部教授 同志社大学大学院ビジネス研究科客員教授  
領内 修 氏

1. 参加者 62名

- ◎8月4日（特別例会） 於 淀川河川敷
1. 観覧 淀川花火大会 観覧ツアー  
1. 出席者 25名
- ◎8月10日（特別例会） 於 京セラドーム大阪
1. 観覧 「オリックスVSロッテ」  
1. 出席者 18名
- ◎9月28日（視察・見学）
1. 見学先 近畿車輛(株)工場（東大阪市）  
パナソニックミュージアム（門真市）  
大阪工業大学梅田キャンパス及び  
都心型オープンイノベーション拠点「Xport」（大阪市）
1. 出席者 30名
- ◎11月21日 於 大和信用金庫八木支店ビル3階会議室
1. テーマ 「道路に関する話題」  
1. 講師 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所 事務所長 原 久弥 氏  
1. 出席者 64名
- ◎12月6日（忘年会） 於 ザ・ヒルトップテラス奈良
1. ジャズライブ ヴォーカル 畠山 晴衣  
ピアノ 植田 良太  
ベース 西川 サトシ  
ドラム 高野 正明
1. アトラクション MAGICIAN 柴阪 隼人 氏によるマジックショー  
1. 出席者 68名
- ◎1月21日（奈良女子大学との講演会、交流・懇親会） 於 奈良女子大学G201教室
- 奈良女子大学（講演）
- 「国際交流を通じた社会連携の試み」  
テーマ：「インドネシア研修報告」  
インドネシアにおける森林保護の取り組み 文学部4回生 久保田 奈津 氏  
インドネシアの環境汚染 博士前期課程1回生 白井 玖美 氏  
ガジャダ大学との学生交流の一こま 博士前期課程1回生 前川 穂乃香氏
- テーマ：「奈良女子大学とバン格拉デシュ・ダッカ大学との学術交流活動について  
-これまでの活動とこれから-」  
講師：奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 高須 夫悟 氏
- テーマ：「理系女性教育開発共同機構の『グローバル化推進プロジェクト』について」  
講師：奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 山下 靖 氏
- 奈良経済同友会（講演）  
テーマ：「新興国の農業インフラの現状と取り組み紹介  
（ミャンマー、ベナン共和国の場合）」

講師：株式会社大和農園ホールディングス 代表取締役社長 吉田 裕 氏  
株式会社大和農園 種苗販売部部长 内田 健志 氏

○懇親会 於 奈良女子大学 大学ラウンジ

1. 出席者 78名 (当会 50名)

◎2月22日 於 奈良商工会議所会館AB会議室

1. テーマ 「裁判員裁判～心配ご無用。シッカリできます。」

1. 講師 奈良地方裁判所 刑事部総括判事 西川 篤志 氏

1. 出席者 63名

◎3月11日 於 ホテル日航奈良

1. テーマ 「規格外」

1. 講師 柔道家・タレント 篠原 信一 氏

1. 出席者 64名

## 6. 経済講演会

(奈良商工会議所、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎3月13日 於 奈良商工会議所会館大ホール

1. テーマ 「最近の関西の金融経済情勢について」

1. 講師 日本銀行理事 大阪支店長 山田 泰弘 氏

1. 出席者 94名 (当会58名)

## 7. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)

◎1月8日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 20名

## 8. 合同新年名刺交換会

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎1月8日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 約750名

## 9. フォーラム

◎1月26日 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. 出演者 落語家 笑福亭 純瓶 氏

講談師 旭堂 小南陵 氏

1. 出席者 53名

## 10. 創立70周年記念大会

◎10月19日 於 ホテル日航奈良

大会次第

1. 開会挨拶 奈良経済同友会

代表幹事 北 義彦 南都商事(株) 代表取締役社長

1. 来賓祝辞 奈良市副市長 西谷 忠雄

一般社団法人 関西経済同友会

代表幹事 黒田 章裕 コクヨ(株) 代表取締役会長

1. 大会趣旨説明 奈良経済同友会創立 70 周年記念大会  
実行委員長 中村 光良 中村建設(株) 代表取締役社長

1. 基調講演 テーマ：「伝統産業を受け継ぐ、たねやの不易流行」  
講師：たねやグループCEO 山本 昌仁

1. 基調講演講師と若手経営者の経営者座談会  
たねやグループCEO 山本 昌仁  
合同会社ほうせき箱 代表 平井 宗助  
株式会社 Women's Future Center 代表取締役 栗本 恭子  
株式会社天平楽座 代表取締役 加藤 陽香  
合同会社ヴァレイ 代表 谷 英希

(コーディネーター)名阪食品株式会社 代表取締役社長 清水 克能

1. 奈良の活性化に関する取り組みの報告  
奈良経済同友会  
副代表幹事 井村 守宏 株式会社イムラ封筒 取締役会長

#### 1. 祝賀会

- ・開宴挨拶 奈良経済同友会  
代表幹事 吉田 裕 (株)大和農園ホールディングス 代表取締役社長
- ・来賓挨拶 奈良県知事 荒井 正吾
- ・歴代代表幹事紹介、記念品贈呈
- ・乾杯発声 奈良県商工会議所連合会会長 植野 康夫 (株)南都銀行 取締役会長
- ・閉会挨拶 奈良経済同友会  
副代表幹事 田中 郁子 (株)柿の葉すし本舗たなか 取締役会長

1. 出席者 221名 (当会 124名)

### 1.1. 委員会活動

#### ■平成31年年頭所感起草委員会

◎10月22日 (第1回) 於 奈良県経済倶楽部4階会議室

##### 1. 議題

①具体的な提言テーマについての意見交換、テーマの洗い出し

1. 出席者 16名

◎11月19日 (第2回) 於 ふろぼの福祉ビル5Fセミナールーム

##### 1. 議題

①平成31年年頭所感テーマの選定及びストーリーづくり

1. 出席者 14名

◎12月10日 (第3回) 於 奈良商工会議所地階B会議室

##### 1. 議題

①平成31年年頭所感 (案) 検討、討議、決定

1. 出席者 15名

#### ■企業活性化委員会

1. 第5回： 5月11日 出席者 11名 於 奈良県経済倶楽部

1. 第6回： 6月13日 出席者 14名 於 ふろぼの福祉ビル



1. 第7回： 7月26日 出席者 20名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第8回： 9月5日 出席者 11名 於 奈良県経済倶楽部

■観光活性化委員会

1. 第5回： 5月11日 出席者 14名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第6回： 6月13日 出席者 15名 於 ふろぼの福祉ビル  
 1. 第7回： 7月12日 出席者 22名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第8回： 8月18日 出席者 10名 唐古・鍵遺跡見学等視察  
 1. 第9回： 9月10日 出席者 17名 於 奈良県経済倶楽部

■創立70周年記念事業実行委員会

1. 第7回： 5月29日 出席者 15名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第8回： 6月25日 出席者 18名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第9回： 7月24日 出席者 12名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第10回： 8月22日 出席者 23名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第11回： 9月27日 出席者 24名 於 奈良県経済倶楽部

12. 海外視察研修（マレーシア・シンガポール）

◎5月23日～27日

1. 視察研修

- ・ハラル産業開発公社、MDT Innovations 視察
- ・在シンガポール日本国大使館訪問、JETRO シンガポール視察・ブリーフィング
- ・統括ハブ機能研究所所長 木島洋嗣氏による IR レクチャー、マリーナベイサンズ見学
- ・セントーサ島視察

ほか

1. 参加者 30名

13. ゴルフ親睦会

◎6月9日

於 飛鳥カンツリー倶楽部

1. 出席者 23名

◎10月20日

於 奈良国際ゴルフ倶楽部

1. 出席者 25名

14. 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」（奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学）への参画

◎7月25日

1. 「奈良」女子大学入門 講座へ会員企業2社派遣  
 ディライト株式会社  
 株式会社大和農園ホールディングス

15. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県ビジターズビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月10日 於 奈良商工会議所会館会議室  
＜リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会 平成30年度理事会＞

1. 議事

- ① 平成29年度事業報告及び同収支決算報告について
- ② 平成30年度事業計画（案）および同収支予算（案）について
- ③ 役員改選について
- ④ その他

1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」  
講師 奈良県県土マネジメント部 地域交通課  
課長補佐 人見 達哉 氏

1. 出席者 北代表幹事・井阪事務局長

16. 京奈和自動車道建設促進関連

◎7月17日 於 奈良商工会議所301会議室  
＜京奈和自動車道建設促進奈良県民会議・理事会＞

1. 議事

総会に付議すべき事項について

1. 出席者 北代表幹事

◎10月22日 於 奈良ロイヤルホテル鳳凰の間  
＜奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会＞

1. 主な次第

- ① 意見発表  
・道路関係  
・公園関係
- ② 要望朗読

1. 出席者 北代表幹事

17. 6経済同友会代表幹事懇談会

◎4月16日 於 グランフロント大阪 ナレッジサロン  
会議次第

1. 議題

スポーツツーリズムの今後～ワールドマスターズゲームズを中心に～  
関西／鈴木 博之 代表幹事

1. 出席者 25名（当会 3名）

18. 第31回全国経済同友会セミナー

◎4月19日～20日

＜4月19日＞ 於 ホテル東日本宇都宮  
大会次第

1. テーマ 次世代につなげる輝く日本を目指して  
～明るく希望に満ちた社会の構築～

1. 基調講演

テーマ 人口減少社会での持続可能なまちづくり

講師 隅 研吾 氏  
建築家、東京大学教授

1. 分科会討議

- ① 地域資源と新技術を活用した持続可能なまちづくり
- ② 産業の垣根を超えて目指す新たな価値創造
- ③ 人口減少時代における企業の人材戦略
- ④ 受益と負担の将来展望 財政と社会保障、税制と社会保険

1. 懇親パーティー

<4月20日> 於 栃木県総合文化センター

1. 分科会報告

1. 総括挨拶 小林 喜光 氏 (公社) 経済同友会 代表幹事  
(株) 三菱ケミカルホールディングス 会長

1. 特別講演

テーマ：未来に繋げる地域文化の磨き方

講師：デービッド・アトキンソン 氏 (株)小西美術工藝社 代表取締役社長

1. 閉会挨拶 藤井 昌一 氏 栃木県経済同友会 理事  
藤井産業(株) 代表取締役社長

1. 出席者 1, 030名 (当会 17名)

<エクスカージョン>

- ・宇都宮近郊 石の魅力で幻想の旅  
(4月19日午後・半日)
- ・陶芸の街・益子を聞く・見る・造る旅  
(4月20日午後・半日)
- ・案内人と歩く日光日帰り満喫の旅  
(4月20日午後・半日)
- ・蔵のまちとちぎ散策とプレミアムいちご狩りの旅  
(4月20日午後・半日)
- ・世界遺産 日光東照宮を巡る旅  
(4月20日～21日・1泊2日)
- ・那須の自然と芸術を巡る旅 (建築家・隅研吾氏の建築巡り)  
(4月20日～21日・1泊2日)
- ・「日光カンツリー倶楽部」親睦ゴルフ大会  
(4月21日)

19. 第116回西日本経済同友会会員合同懇談会

◎10月12日～13日

於 JR ホテルクレメント高松

1. 懇談会 会場：JR ホテルクレメント高松
1. テーマ 瀬戸内から発信する未来ネットワーク
1. オープニング オープニングムービー、サヌカイト演奏
1. 基調講演
- テーマ 瀬戸内から発信する未来ネットワーク  
～ミレニアム世代に向けて動き出した交流～
- 講師 北川 フラム 氏 (瀬戸内国際芸術祭 総合ディレクター)

## 1. パネルディスカッション

テーマ 「近江商人サミット」～未来をつくる企業リーダー～

パネリスト： 泉 雅文 氏 (四国旅客鉄道㈱ 取締役会長)

福井 順子 氏 (NPO 法人 男木島図書館 理事長)

十河 瑞澄 氏 (四国八十八カ所霊場会 青年会会長)

ファシリテーター： 矢野 年紀 氏 (香川経済同友会 代表幹事)

コーディネーター： 亀谷 哲也 氏 (西日本放送㈱アナウンサー)

1. 懇親パーティー 会場：JR ホテルクレメント高松

1. ウェルカムアトラクション：So Nice Jazz Band

1. 出席者 約500名 (うち当会 11名)

## <エクスカーション>

同伴者半日コース：さぬきうどん手打ち体験と和船で楽しむ栗林公園

Aコース (日帰り)：瀬戸内に浮かぶアートの楽園「直島」

Bコース (日帰り)：観光列車 四国まんなか千年ものがたり

Cコース (日帰り)：瀬戸大橋 30周年記念 水上飛行機から眺める「うどん県」

Dコース (日帰り)：親睦ゴルフコンペ 於 鮎滝カントリークラブ

## 20. 第5回西日本経済同友会代表者会議

◎7月20日

於 ザ・リッツカールトン大阪

### ○視察

・大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部

常盤ホール見学と梅田キャンパス説明

RDC、X p o r t説明・質疑応答

(松井 謙二 大阪工業大学 ロボティクスデザインセンター副センター長 他)

### ○代表者会議

#### 次第

1. テーマ「第4次産業革命下における、既存企業の経営戦略  
～産業構造が大幅に変化する時代に、中堅・中小企業が生き残るための方策～」

1. 討議 ①経営者のマインドセットを変えるには

～DMOの現状と課題～

◆荒木 秀之 りそな総研主席研究員による問題提起

◆自由討議

1. 討議 ②これからの時代に、経営者に求められる経営戦略

◆荒木 秀之 りそな総研主席研究員による問題提起

◆各地同友会からの事例発表 (京都・滋賀経済同友会)

◆自由討議

1. 議長まとめ

1. 議事

・西日本経済同友会会員合同懇談会の開催について

1. 報告

・第116回西日本経済同友会会員合同懇談会 案内 (香川)

・第117回西日本経済同友会会員合同懇談会 案内 (鳥取県)

・第32回全国経済同友会セミナービデオメッセージ (新潟)

1. 懇親パーティー

出席者 71名 (当会 3名)

## 21. 諸会議出席

※2018年度全国経済同友会事務局長会議

と き 9月13日～14日

ところ ホテルメトロポリタン盛岡 NEWWING (岩手県盛岡市)

出席者 井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

と き 10月12日

ところ JR ホテルクレメント高松 (高松市)

出席者 北義彦代表幹事、吉田裕代表幹事、井阪英夫事務局長

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 11月12日

ところ ANAクラウンプラザホテル米子 (鳥取県米子市)

出席者 北義彦代表幹事、井阪英夫事務局長

## III 会勢

### 1. 平成30年度役員・委員会委員

#### <平成30年度役員名簿>

代表幹事	北 義 彦	南都商事(株)	取締役社長
代表幹事	吉 田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
特別幹事	福 本 良 平	(株)福本設計	代表取締役会長
特別幹事	鳶 川 安 雄	(一財)南都経済研究所	理事長
特別幹事	山 田 善 久	大光宣伝(株)	取締役社長
特別幹事	山 本 太 治	(株)三輪山本	取締役社長
副代表幹事	石 井 昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
副代表幹事	田 中 郁 子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
副代表幹事	井 村 守 宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
副代表幹事	出 口 悦 弘	ディライト(株)	取締役会長
副代表幹事	谷 奥 忠 嗣	谷一木材(株)	取締役社長
幹 事	朝 廣 佳 子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹 事	板 床 俊 祐	野村証券(株)	奈良支店長
幹 事	乾 昌 弘	(株)明新社	取締役社長
幹 事	植 嶋 修 治	(株)植嶋	取締役社長
幹 事	上 田 昌 平	(株)レナ	代表取締役
幹 事	植 田 英 寛	(株)中和商事	取締役社長
幹 事	卜 部 能 尚	ウラベ木材工業	代表者
幹 事	岡 村 匡 倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
幹 事	角 谷 守 啓	奈良交通(株)	専務取締役
幹 事	川 井 喜 樹	奈良信用金庫	理事長
幹 事	菊 池 攻	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹 事	黒 田 浩 之	黒田会計事務所	所長
幹 事	小 西 恵 美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹 事	小 林 茂 樹	三和住宅(株)	代表取締役会長

幹事	小齊	山藤	新正	造幸	小山(株)	代表取締役会長
幹事	佐藤	藤典	嗣能	佐藤木材(株)	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
幹事	清水	水克	能弘	名阪食品(株)		取締役社長
幹事	谷野	野守	弘央	奈良中央信用金庫		代表取締役社長
幹事	辻将	央生	大峰堂薬品工業(株)			専務理事
幹事	津秦	幸史	ホテル日航奈良			取締役社長
幹事	鐵東	敦男	(株)エヌ・アイ・プランニング			総支配人
幹事	豊澤	安隆	奈良豊澤酒造(株)			代表取締役
幹事	中尾	七隆	(株)中尾組			代表取締役会長
幹事	中村	光良	中村建設(株)			専務取締役
幹事	萩原	斗志弘	(株)萩原農場生産研究所			取締役社長
幹事	畠山	晴衣	(株)サロンまき			専務取締役
幹事	林田	壽昭	三笠産業(株)			取締役社長
幹事	平山	文堂	ダイワ精密プレス(株)			取締役社長
幹事	藤田	寿美子	学校法人ハルナ学園			代表取締役社長
幹事	前川	浩二	(株)都市企画設計コンサルタント			理事長
幹事	真柴	幸雄	ダイシン化工(株)			代表取締役
幹事	松本	喜久子	(福)白鳳会西大和保育園			代表取締役
幹事	水谷	豊彦	(株)あかしや			理事長・園長
幹事	森雅	彦隆	DMG森精機(株)			取締役社長
幹事	森川	善宏	大和信用金庫			取締役社長
幹事	森田	康一	ディテック(株)			理事長
幹事	森本	俊史	三和澱粉工業(株)			代表取締役会長
幹事	吉田	明史	(株)花の大和			代表取締役会長
幹事	吉田	浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター			取締役社長
幹事	和田	悟佳	(株)南都銀行			理事長
監事	近東	宏佳	共同精版印刷(株)			執行役員経営企画部長
監事	森田	務務	税理士法人森田会計事務所			代表取締役社長
						代表社員

<平成31年年頭所感起草委員会委員名簿>

◎北	義彦	南都商事(株)	取締役社長
◎吉	田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
	嶋川	(一財)南都経済研究所	理事長
	田中	柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
	井村	(株)イムラ封筒	取締役会長
	出口	ディライト(株)	取締役会長
	谷奥	谷一木材(株)	代表取締役
	板床	野村証券(株)	奈良支店長
	上田	(株)レナ	代表取締役
	尾原	(株)近鉄百貨店	常務執行役員店長
	角谷	奈良交通(株)	専務取締役
	川井	奈良信用金庫	理事長
	近東	共同精版印刷(株)	取締役社長
	齊藤	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
	清水	名阪食品(株)	代表取締役社長
	谷野	奈良中央信用金庫	専務理事

津 秦 幸 生	ホテル日航奈良	総支配人
中 村 光 良	中村建設(株)	取締役社長
萩 原 斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
松 谷 幸 和	奈良県信用保証協会	会長
吉 田 浩 巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
和 田 悟	(株)南都銀行	執行役員経営企画部長

◎印は代表幹事

<企業活性化委員会委員名簿>

我 妻 詔 子	(株)我妻運輸	取締役副社長
市 岡 武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
◎井 村 守 宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
大 江 隆	三井住友信託銀行(株)	奈良西大寺支店長
岡 村 匡 倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
奥 野 順 也	西日本電信電話(株)	奈良支店長
北 義 彦	南都商事(株)	取締役社長
黒 田 浩 之	黒田会計事務所	所長
齊 藤 正 幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
寫 川 安 雄	(一財)南都経済研究所	理事長
高 橋 直 嗣	(株)鶴屋徳満	代表取締役社長
田 中 篤 則	(株)奈良新聞社	取締役企画部長
谷 奥 忠 嗣	谷一木材(株)	代表取締役
○谷 野 守 弘	奈良中央信用金庫	専務理事
豊 澤 安 男	奈良豊澤酒造(株)	代表取締役会長
中 村 光 良	中村建設(株)	代表取締役社長
萩 本 敦 士	(株)三菱東京UFJ銀行	奈良支店長
畠 山 晴 衣	(株)サロン まき	代表取締役
福 本 良 平	(株)福本設計	代表取締役会長
富 宅 勲	FK不動産(株)	代表取締役
松 谷 幸 和	奈良県信用保証協会	会長
森 田 晃 弘	(株)ドコモCS関西	奈良支店長
山 田 善 久	大光宣伝(株)	代表取締役社長
山 内 民 興	社会福祉法人ふろぼの	理事長
山 本 太 治	(株)三輪山本	取締役社長
吉 田 裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
吉 田 浩 巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は委員長 ○は副委員長

<観光活性化委員会委員名簿>

青 木 博 美	DMG森精機(株) 総務部	奈良福祉厚生グループ長
板 床 俊 祐	野村證券(株)	奈良支店長
市 岡 武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
井 上 富 重	大和ハウス工業(株)	奈良支店長
井 上 朋 成	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長
◎井 村 守 宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
上 田 昌 平	(株)レナ	代表取締役
岡 村 匡 倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長

奥野順也	西日本電信電話(株)	奈良支店長
大谷和也	奈良交通(株) 観光事業部	グループ長
唐津洋平	(株)JTB西日本	奈良支店長
川井喜樹	奈良信用金庫	理事長
北義彦	南都商事(株)	取締役社長
佐野達哉	東京海上日動火災保険(株)	奈良支店長
柴田義太郎	(株)柴田衣料店	取締役社長
鳶川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
鈴木健介	(株)奈良新聞社	取締役販売部長
高垣一生	(株)近畿日本ツーリスト関西	奈良支店長
高橋直嗣	(株)鶴屋徳満	代表取締役社長
竹内一順	SMB C 日興証券(株)	奈良支店長
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
中村光良	中村建設(株)	代表取締役社長
畠山晴衣	(株)サロンまき	代表取締役
早坂正仁	三菱UFJモ&G&S証券(株)	奈良支店長
松嶋秀樹	税理士法人アシスト	代表社員
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
宮崎好弘	(株)奈良ホテル	代表取締役社長
山浦克久	みずほ証券(株)	奈良支店長
山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
○吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
◎印は委員長	○は副委員長	

#### <創立70周年記念事業実行委員会委員名簿>

朝廣佳子	(株)読売奈良ライフ	代表取締役
乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
植田英寛	(株)中和商事	代表取締役
梅田貴弘	(株)渋谷	取締役社長
○大浦晃平	(株)中和コンストラクション	代表取締役社長
上武建一	上武建設(株)	代表取締役社長
北義彦	南都商事(株)	取締役社長
近東宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
阪田文彦	福井水道工業(株)	代表取締役
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
清水克能	名阪食品(株)	代表取締役社長
角田正之	(株)伸芽教育	代表取締役
田尻忠義	(株)楓工務店	代表取締役
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
出口悦弘	ディライト(株)	取締役会長
中村博樹	学校法人ハルナ園	総施設長
◎中村光良	中村建設(株)	代表取締役社長
西垣雅史	西垣林業(株)	取締役副社長
○萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
畠山晴衣	(株)サロンまき	代表取締役
服部亘	(株)服部商事	専務取締役
伏見及	有限責任監査法人トーマツ	マネージャー



前川浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役
松本喜久子	(福)白鳳会西大和保育園	理事長・園長
松本健澄	アルファホーム(株)	代表取締役
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
村島靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役
山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
吉村健	(株)みずほ銀行	奈良支店長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長

◎印は委員長 ○は副委員長

## 2. 入退会者

### ◎新入会者（15名）

唐津洋平	(株)JTB西日本	奈良支店長	(30.4)
安藤政秀	UBS銀行	大阪出張所長	(30.4)
朝日務	(株)奥村組	奈良支店長	(30.4)
石西輝行	石西呉服店	店主	(30.4)
森山斗福	(株)らくじ会	代表取締役	(30.4)
稲田光守	稲田酒造(名)		(30.4)
甘利治夫	(株)奈良新聞社	代表取締役	(30.4)
和田悟	(株)南都銀行	執行役員総合企画部長	(30.4)
森井哲也	ナント種苗(株)	代表取締役社長	(30.7)
水野賢治	あいおいニッセイ同和損害保険	奈良支店長	(30.7)
鍵谷健	(株)Real Style	代表取締役	(30.8)
泉井秀之	(株)ヒデノン	代表取締役	(30.8)
米杉伸喜	(株)米杉建設	代表取締役	(30.10)
森村照私	大和総合会計事務所	所長	(30.12)
中尾哲弥	(株)マイナビ	奈良支社長	(31.3)

### ◎交代入会者（22名）

徳水一雄	第一生命保険(株)	奈良支社長	(30.4)
伊藤寛治	日本生命保険(相)	奈良支社長	(30.4)
佐野達哉	東京海上日動火災保険(株)	奈良支店長	(30.4)
竹村唯嗣	奈良ロイヤルホテル	総支配人	(30.4)
横大路清一	損保ジャパン日本興亜(株)	奈良支店長	(30.4)
井上朋成	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長	(30.4)
小川大輔	アパレル(株)大阪統括支社	大阪奈良支店長	(30.4)
長澤秀樹	明治安田生命保険(相)	奈良駅前営業部部長	(30.4)
吉村健	(株)みずほ銀行	奈良支店長	(30.4)
中川裕子	日本電気(株)	奈良支店長	(30.4)
古川俊男	奈交自動車整備(株)	取締役社長	(30.7)
奥野順也	西日本電信電話(株)	奈良支店長	(30.7)
岩本亨	桜井木材協同組合	理事長	(30.9)
正木久雄	正木商事(株)	代表取締役社長	(30.10)
田中秀直	(株)三菱UFJ銀行	奈良支店長	(30.10)
柳澤通	日本通運(株)	奈良支店長	(30.10)
上武敏一	上武建設(株)	代表取締役会長	(30.11)

森田好昭	南都まほろば証券(株)	代表取締役社長	(30.12)
真柳宏二	ホテル日航奈良	総支配人	(31.1)
波多野勉	三井住友信託銀行(株)	奈良西大寺支店長	(31.1)
鈴木啓司	オリックス(株)	阪奈支店長	(31.3)
松本健介	SMBC日興証券(株)	奈良支店長	(31.3)

◎退会者（3名）

中野司朗	医療法人GreenWake	理事長	(30.6)
下村敏博	奈良まほろば法律事務所	所長	(30.6)
宇佐美孝二	太陽会計税理士法人	代表社員	(30.7)

3. 平成30年度末会員数

177名

## IV 資料

### 平成30年度事業計画

#### 奈良経済同友会

企業収益並びに雇用情勢・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復に向かうことが期待される一方で、海外政治経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動などもあり景気の下押しリスクが高まっており、企業の経営環境はなお不透明感が増している。

中小零細企業が大半を占める地域経済は、人口の東京一極集中、少子高齢化の進展、人手不足、産業構造の変化など急激な環境変化に見舞われている。今後、経済のグローバル化や労働力人口減少に伴う雇用確保・人件費上昇、働き方改革、AI・IoT導入などへの対応で諸問題を乗り越え、地域経済の確かな担い手として、独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していく必要がある。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定し、実行する。

## <事業計画>

### I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、新入会員勧誘の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

### II 「行政との意見交換会」の実施

社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

### III 「調査」「研究」「提言」活動

平成30年年頭所感に掲げたテーマ「奈良県の地域活性化ソリューションに取り組む」を基本命題として、奈良県の経済産業活性化に資するため、大学、行政等とも連携しながら、現在実施している「企業活性化委員会」、「観光活性化委員会」の活動をさらに活発化し、調査・研究及び提言を行う。

### IV 創立70周年記念事業の実施

当会が創立70周年の節目を迎えるにあたり、これまでの歴史を振り返るとともに更なる発展を期すため、平成30年10月19日に創立70周年記念大会を実施する。

### V 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

#### VI 「ネットワーク」活動

- (1) 京都・滋賀・奈良3経済同友会で組織する「京滋奈代表者懇談会」への参加・交流
- (2) 滋賀・京都・関西・神戸・和歌山・奈良の「6経済同友会」への参加・交流
- (3) 全国経済同友会セミナー、西日本経済同友会代表者会議、西日本経済同友会会員合同懇談会などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化
- (4) 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学)への参画

#### VII 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の早期開通と京奈和自動車道の整備促進

以上

平成31年1月8日

## 自立する奈良県経済をめざして

奈良経済同友会平成31年年頭所感

平成31年の年頭に当たり、我々は、我々の果たすべき使命・役割を考え、下記のとおり平成31年の年頭所感を表明する。

### 記

#### I. 基本的視座

奈良経済同友会は戦後間もない昭和23年（1948年）に創立され、昨年、創立70周年を迎えた。10月には創立70周年記念大会を实行。また、平成29年8月に我々の地元である奈良県の地域活性化を目標に「企業活性化委員会」「観光活性化委員会」の2つの委員会を立ち上げ、創立70周年を機に、両委員会はその中間報告をまとめ発表した。

両委員会活動を通じてまず実感したことは、我々を含めて多くの奈良県住民は地元奈良のことに興味や関心が薄く、県の経済や観光の実態について理解が足りないということであった。我々は、自分たちの勉強不足を認識するとともに、目標とする奈良県の地域活性化をはかるため、まずは議論するための情報収集、すなわち「奈良のことを知る・学ぶ」ことから、委員会活動を始めた。

そして、委員会活動の基本テーマを次のとおりに決定した。

“Look Nara deeper  
&  
be forward-thinking!”

(意味：地元奈良のことをもっと深く見て知ろう、そして将来に向かって積極的に考えよう！)

奈良には他の地が羨むほどの自然や歴史文化遺産があるが、その優位性、すなわち地の利や資産を生かした地域活性化が十分に行われていない。「大仏商法」に象徴される奈良の保守性、乏しい危機感は、ひとり観光産業だけの問題ではなく、奈良の経済産業界、さらには県民性にも通じる問題と考えられる。奈良の企業は大きくなると奈良から出ていくと言われるが、隣の京都では「京都企業」が元気だ。人材面では優秀な学生を輩出する奈良県ではあるが、大学進学を機に学生は奈良から離れていく。今こそ、奈良の求心力が求められている。統一感を持った奈良のブランディング、京都とは違う奈良のアイデンティティが必要なのではないかと考えている。

そのためには、とにかく奈良が元気になること。そして、より多くの投資や消費が奈良県で行われ、その経済的自立度を高めることが必要である。

我々は、本年も「企業活性化」と「観光活性化」の二面から奈良県の地域活性化の方策を考え、自立する奈良県経済をめざして活動していくこととする。

## II. 地域活性化のための方策

### 1. 地域活性化の基本事項

#### (1) 新しい奈良のブランドイメージの確立

奈良の地域活性化を考えるにあたって、その基本となるのは「奈良のブランドイメージの確立」だろう。県内への企業誘致、海外・県外からの観光客誘客、さらには、企業や住民の県内「定住」のためのキーワードとなるのは、他にはない「奈良のブランドイメージ」だ。

京都は「古都」「洗練されている」「雅(みやび)」といったブランドイメージが確立されている。奈良には「日本の故郷」「ゆったり」「素朴、飾らない」といったコンセプトの下、京都とは異なった、日本人に共通する感覚を醸し出す方向付けが必要だ。

企業活性化においては、奈良の統一感を持って商品開発や企業展開を図ることがブランドづくりの重要なテーマとなる。奈良のブランドイメージのもと集まって、ベンチャーの育成や後輩たちの教育・指導などをできるようになれば、奈良県産業の活性化にも一役買うことになるだろう。

一方、観光活性化においては、これまでの「シルクロードの終着点」「古(いにしえ)の都」という固定的な奈良のイメージではなく、たとえば、「東アジアの新しい国際交流拠点」「日本の故郷」「素朴、飾らない」など奈良の新しいイメージを打ち出していくことができれば、さらに多くの観光客を誘致することにもつながるだろう。

#### (2) 交通インフラの整備

企業活動、観光振興において最も重視すべきは、道路・鉄道など交通インフラの整備である。昨年、県内の物流や観光周遊のベースとなる京奈和自動車道が全線事業化されることになった。全線開通まではまだ相当の時間を要するが、引き続き未整備区間(ミッシングリンク)の早期整備を要望していく。

一方、鉄道については、本年春開業予定のおおさか東線経由で、新大阪～奈良間の直通列車が走ることとなり、西日本から奈良へのアクセスが向上する。本年のラグビーW杯2019をはじめ、今後、2020東京オリンピック・パラリンピック、2021ワールドマスターズゲームズ in 関西、2025大阪万博など、国家的ビッグイベントが目白押しであり、海外からも多くの観光客がやってくる。インバウンドの奈良誘致のため、関西空港～奈良間の直通列車運行実現についても要望していく。また、リニア中央新幹線の早期建設促進についても引き続き要望していく。

### 2. 企業活性化への視点

#### (1) 働く場所の創出

平成27年の国勢調査によると、奈良県の県外就業率は28.76%、全国2位と県外で働く人の割合が高い。奈良県では「働いてよし」の奈良県をめざし、積極的に企業誘致を図っており、平成30年上期までの11年間半で317件の企業誘致を実現している。しかしながら、奈良県民の高い県外就業率構造に大きな変化を起こすまでには至っていない。その理由としては、県内で就業の受け皿となる事業所がなお少ないこと、企業集団としての産業集積が乏しいこと、大阪、京都などの事業所と比較して、給与水準が低いことなどが考えられる。また、奈良で育った企業の県外移転がみられることや、県内に理系の大学が少なく産官学の連携がとりづらいため新商品開発や新規事業起業

のベースが弱いことなども影響しているものと思われる。

奈良県経済の自立度を高めるためには、県内で働く場所を創り増やすことが喫緊の課題である。これまでの県の努力の継続とともに、県内への企業誘致の基盤となる道路インフラ整備の促進や工場等移転用地の確保等も併せて要望していく。

奈良県は県外就業者の割合が高いため県民の通勤時間は96分（全国5位、平成28年社会生活基本調査）と全国的に見ても長い。県内で働く場所が増えれば、女性や高齢者の就業率のアップも期待でき、県内での資金循環にも寄与するものと考えられる。

## （2） 魅力ある職場づくり

働く場所を増やすのは、県外からの企業誘致だけとは限らない。県内にある企業において魅力ある職場づくりを進めることができれば、県内での就業人口を増やす誘因になる。職場の魅力のなかでも重要なのは、雇用者報酬だ。基本的には、企業の売上高の増加や付加価値生産性の向上など企業努力に負うところが大きい。企業活性化委員会でも従業員の健康管理を重要な経営課題とする健康経営で従業員のパフォーマンスを上げ労働生産性を高める方法などについて研究を続けていくこととする。また、本年4月からスタートする働き方改革では、中小企業においても年次有給休暇取得の義務化や勤務間インターバル制度の普及推進などへの対応が必要となるが、魅力ある職場づくりの一環として会員企業に積極的な取り組みを求めている。

## （3） 会員企業の活性化

最も大切なことは、我々同友会のメンバーが経営する企業の活性化である。個々の企業の活性化こそが地域活性化に結びつく。我々の大半は今までの経験や断片的に学んだ知識をベースとして経営に携わってきた。今、我々を取り巻く環境が大きく変わりつつあるときに、改めて、今後の方向付けや経営の方法についてしっかりと考え学ぶべきである。と考える。

具体的には、先人や思想家などから経営哲学を学ぶとともに、SDGsやSociety 5.0などから現在の世界や日本の大きな動きを確認していく。また、ビジネスモデルやマネジメント手法の勉強を通じて、自社に適した経営手段・方策を再構築することにより企業活性化、さらには地域活性化へつなげていく。

## 3. 観光活性化への視点

### （1） まずは知ることから

豊かな自然と歴史文化遺産があることで、奈良県は見どころに恵まれている。しかし、これらに注がれる県民の関心は必ずしも高くない。あまりに身近にあってその価値がわからないということかもしれない。一方、奈良県の経済的な自立度を高めるためには、奈良を訪れる観光客を増やし経済効果を高めることが求められている。奈良県の文化的資源を生かして、社会的経済的価値を創出していく必要がある。そのためには、まずは、県民自身が奈良のことをよく知り奈良の観光魅力の語り部にならなければならない。地元にある歴史文化遺産に関心を持ち学習すれば、その有難さがわかり、奈良に対する愛着、誇りにもつながるものと思われる。南都六宗、奈良仏教は奈良時代からの学びの場でもある。奈良の歴史文化は奥が深い。まずは奈良を学び、知ることから始めてい

く。

## (2) 奈良観光にストーリー性を持たせる

奈良県にはたくさんの歴史文化遺産があるが、それぞれが点の観光地となっており、時間をかけて奈良を巡るスタイルの旅には結びついていない。観光資源、スポットの多さが災いし、観光客にとってはどのように巡るかわかりづらくなっているのではないかと考えられる。

観光の経済効果を上げるためには、奈良での滞在時間を増やし、観光消費額を大きくすることが肝要である。そのための方策として、奈良観光にストーリー性を持たせることを考えていく。

たとえば、弥生時代の唐古・鍵から葛城、飛鳥、藤原京、平城京そして中世までの歴史を時系列に捉え、それに応じた観光ルートを設定し、時代背景と行き先をリンクさせ、旅行者に分かり易い旅行プランを提案する。この内容の具体化については、県内の各大学や研究機関と協力しながら模索することも考えていく。

## (3) 観光を産業として捉える

近年の奈良県は、インバウンドの増加という追い風もあり、年間4000万人を超える観光客を迎え入れる観光地となっており、観光関連業界では明るさもみられている。ただ、観光関連業界といっても、産業分類上では、旅行業、宿泊業、飲食業、運輸業、製造業など極めて多岐にわたっており、「観光産業」といった産業分類は存在しない。それゆえ、「観光産業」の経済規模や付加価値額の推移など指標となるデータも乏しい。

奈良県にとっては、観光は大規模な地域雇用を創出する手段であり、県内の観光資源の活用を通じて県外からの収入を獲得する有力な産業である。観光は、ホテル・旅館、鉄道、飲食、旅行代理店のみならず多産業間にわたり、効果的な連携、ホスピタリティの質のコントロールなどにより、はじめて成り立つ総合産業である。その意味において、多岐にわたる観光関連業を一つの「観光産業」として捉えて、その全体像を明確化するとともに、官民が連携してインバウンドへの対応や滞在型観光の推進などで奈良県の「観光産業」の推進にかかわっていく方策を模索していきたい。

以 上